

取組・評価書（住宅用途）

第1 環境への配慮のための措置及びその取組状況

分野	1 エネルギー使用の合理化		
区分	(1) 建築物の熱負荷の低減		
細区分	ア 建築物外皮の熱負荷抑制		
	取組状況	取組状況の評価	
(ア) 判断基準		適合状況	段階
a 仕様基準[]			3
b 性能基準[]			2
(イ) 外皮平均熱貫流率の計算方法[]			1
(ウ) a 外皮平均熱貫流率の最大値[W/(m ² ・K)]			
b 外皮平均熱貫流率の平均値[W/(m ² ・K)]			
(エ) 冷房期の平均日射熱取得率[]			
(オ) 暖房期の平均日射熱取得率[]			
(カ) 開口部の熱貫流率[W/(m ² ・K)]			
(キ) ※省エネルギー性能目標値[]			
区分	(2) 再生可能エネルギーの利用		
細区分	ア 再生可能エネルギーの直接利用		
	取組状況	取組状況の評価	
(ア) 全住戸数[戸]		適合状況	段階
(イ) 窓が2方向以上に面している住戸数[戸]			3
採光を満たす住戸の割合[%]			2
(ウ) 換気口又は窓が2方向以上に面している住戸数 [戸]			1
通風を満たす住戸の割合[%]			
細区分	イ 再生可能エネルギーの変換利用		
	取組状況	取組状況の評価	
(ア) 太陽光発電設備（定格出力）[kW]		適合状況	段階
(イ) 太陽熱利用（定格出力）[kW]			3
(ウ) 地中熱利用（定格出力）[kW]			2
(エ) その他の設備（定格出力）[kW] その他の設備の詳細[]			1
(オ) 再生可能エネルギー設備の定格出力合計容量[kW]			
細区分	ウ 再生可能エネルギー電気の受入れ		
	取組状況	取組状況の評価	
(ア) CO ₂ 排出係数等 [0.37kg-CO ₂ 以下・全事業者の平均値以下かつ0.37kg-CO ₂ を超える ・全事業者の平均値を超える]		適合状況	段階
			3
			2
(イ) 再生可能エネルギー利用率[30%以上・20%以上30%未満・20%未満]			1
区分	(3) 省エネルギーシステム		
細区分	ア 設備システムの高効率化		
	取組状況	取組状況の評価	
(ア) 判断基準		適合状況	段階
a 仕様基準[]			3
b 性能基準[]			2
(イ) ERRの計算方法[]			1

(ウ) a ERR[] %]
b 一次エネルギー消費量 (住宅部分合計) 設計値[GJ/年] 基準値[GJ/年]
c 一次エネルギー消費量 (共用部 (ゲストルーム)) 設計値[GJ/年] 基準値[GJ/年]
d 一次エネルギー消費量 (共用部) 設計値[GJ/年] 基準値[GJ/年]
e 一次エネルギー消費量 (合計値) 設計値[GJ/年] 基準値[GJ/年]
(エ) 東京ゼロエミ住宅・ZEHに係る事項[]
(オ) 主たる居室の暖房設備・冷房設備に係る事項[]
(カ) 換気設備に係る事項[]
(キ) 給湯設備に係る事項
a 熱源機の種類[]
b 熱源機の種類[]
c 台所水栓[]
d 浴室シャワー水栓[]
e 洗面水栓[]
(ク) 照明設備に係る事項[]
a 照明器具[]
b 制御システムの構築に係る事項[]
(ケ) コージェネレーション[]
(コ) その他設備[]

分野	2 資源の適正利用
----	-----------

区分	(1) リサイクル材
----	------------

細区分	ア 躯体材料におけるリサイクル材の利用	
	取組状況	取組状況の評価
(ア) グリーン購入法の特定調達品目 [高炉スラグ骨材・フェロニッケルスラグ骨材・銅スラグ骨材・電気炉酸化スラグ骨材・高炉セメント・フライアッシュセメント・製材]		適合状況
		段階
		3
		2
(イ) 東京都環境物品等調達方針 (公共工事) の特別品目 [電炉鋼材などのリサイクル鋼材・多摩産材等]		1

細区分	イ 躯体材料以外におけるリサイクル材の利用	
	取組状況	取組状況の評価
(ア) グリーン購入法の特定調達品目 [] []		適合状況
		段階
		3
(2) 東京都環境物品等調達方針 (公共工事) の特別品目 [] []		2
		1

区分	(2) オゾン層の保護及び地球温暖化の抑制
----	-----------------------

細区分	ア 断熱材用発泡剤	
	取組状況	取組状況の評価
(ア) 発泡剤を用いた断熱材等の使用の有無[有・無]		適合状況
(イ) オゾン破壊係数[]		段階
		3
(ウ) 地球温暖化係数[]		2
		1

細区分	イ 空気調和設備用冷媒	
	取組状況	取組状況の評価
(ア) オゾン破壊係数[]		適合状況
		段階
		3
(イ) 地球温暖化係数[]		2
		1

区分	(3) 長寿命化等		
細区分	ア 維持管理、更新、改修、用途の変更等の自由度の確保		
	取組状況	取組状況の評価	
	(ア) 躯体以外の劣化対策に係る事項□ [外部仕上げにおいて、耐用年数の長い材料が採用されていること・屋外露出の保温外装材において、耐用年数の長い材料が採用されていること] 点数[]	適合状況	段階
			3
			2
			1
	(イ) 大型機器等の搬出入に係る事項 [大型機器の搬出入経路や揚重方法が明記された更新計画が作成されていること・構造部材や仕上げ材を痛めることがないように、大型機器の搬出入経路が確保されていること・大型機器や長尺配管の搬出入のために、昇降機のかご寸法が計画されていること] 点数[]		
	(ウ) その他に係る事項 [天井解体等の道連れ工事を最小限とする措置が講じられていること・配管更新や将来対応のために、受水槽又は給水管からパイプシャフトまでの経路において、配管トレンチや配管ピットが設けられていること・共用排水管の更新や将来対応のために、床を貫通する予備スリーブが確保されていること又は更新のための空間が確保され、はつり工事を軽減する措置が講じられていること・変更（改修工事等）の際に廃棄物を減らす取組が導入されていること] 点数[]		
細区分	イ 躯体の劣化対策		
	取組状況	取組状況の評価	
	a 木造 [評価方法基準第5 3-1 (3) イ①bの基準に適合している・評価方法基準第5 3-1 (3) イ①eの基準に適合している]	適合状況	段階
			3
			2
			1
	b 鉄骨造 [評価方法基準第5 3-1 (3) ロ①aの基準に適合している・評価方法基準第5 3-1 (3) ロ②aの基準に適合している]		
	c 鉄筋コンクリート造及び鉄骨鉄筋コンクリート造 [評価方法基準第5 3-1 (3) ハ①a、b及びcの基準に適合している・評価方法基準第5 3-1 (3) ハ②の基準に適合している]		
細区分	ウ 建設資材の再利用対策等		
	取組状況	取組状況の評価	
	[躯体と仕上げ材とが容易に分別可能となっている・内装材と設備が錯綜せず、解体・改修・更新の際に、容易にそれぞれを取り外すことができる・再利用できるユニット部材を用いている・構造部材又はそのユニットが容易に分解でき、再利用できる]	適合状況	段階
			3
			2
			1
区分	(4) 水循環		
細区分	ア 雑用水利用		
	取組状況	取組状況の評価	
	[雨水（浸透及び貯留は除く。）・再生水・循環利用水]	適合状況	段階
			3
			2
			1
分野	3 自然環境の保全		
区分	(1) 水循環		
細区分	ア 雨水浸透		
	取組状況	取組状況の評価	
	(ア) 雨水浸透量[m3]	適合状況	段階
	(イ) 雨水浸透の能力[mm/h]		3
			2
			1

区分	(2) 緑化		
細区分	ア 緑の量の確保		
取組状況		取組状況の評価	
(ア) 地上部の緑化面積[m ²]	適合状況	段階
(イ) 建築物上の緑化面積[m ²]		3
(ウ) 総緑化面積[m ²]		2
(エ) 敷地面積[m ²]		1
(オ) 総緑化面積の敷地面積に対する割合[%]		

細区分	イ 高木等による緑化		
取組状況		取組状況の評価	
(ア) 建築物上における樹木の量の確保に係る事項		適合状況	段階
a 樹木による緑化面積[m ²]		3
b 建築物上樹木による割合[%]		2
c 点数[]		1
(イ) 高木の植栽に係る事項			
a 高木による緑化面積[m ²]		
b 高木による緑化面積の割合[%]		
c 5mを超える高木の有無[有・無]			
d 点数[]		
(ウ) 既存の樹木の保全に係る事項			
a 既存樹木による緑化面積[m ²]		
b 幹周り1m以上の大怪木の保存の有無[有・無]			
c 点数[]		

細区分	ウ 緑の質の確保		
取組状況		取組状況の評価	
[地域の生態系に悪影響を及ぼす外来種に関し、適切な対応を行っていること・自生種の保全に配慮した緑地づくりを行っていること・敷地や建物の植栽条件に応じた適切な緑地づくりを行っていること・野生小動物の生息域の確保に配慮した緑地づくりを行っていること・建物利用者や地域住民が生物とふれあい自然に親しむことのできる環境や施設等を確保していること]		適合状況	段階
			3
			2
			1

細区分	エ 植栽による良好な景観形成		
取組状況		取組状況の評価	
[植栽によって沿道に緑の連続性が確保され、植栽が良好な景観形成に寄与していること・隣接敷地や道路の既存樹木との調和やシンボル性に配慮した樹種を選定していること・公道に面した平面駐車場等の空地について、植栽又は水面の配置により良好な景観形成に寄与していること]		適合状況	段階
			3
			2
			1

細区分	オ 緑地等の維持管理に必要な設備及び管理方針の設定		
取組状況		取組状況の評価	
[灌水設備を適正に配置していること・適正な土壌容量等の植栽基盤を確保していること・巡回監視、樹木剪定、草刈り等の年間工程が計画されていること・病虫害対策等について実施方針が設定されていること・生物モニタリング等及びその結果の緑地等の維持管理への反映が計画されていること]		適合状況	段階
			3
			2
			1

分野	4 ヒートアイランド現象の緩和
----	-----------------

区分	(1) ヒートアイランド現象の緩和
----	-------------------

細区分	ア 敷地と建築物の被覆対策
-----	---------------

取組状況	取組状況の評価	
	適合状況	段階
(ア) 緑地による対策面積(樹木、芝、草花) [m ²]		3
(イ) 蒸散効率の低い植栽による対策面積(セダム等) [m ²]		
(ウ) 水面による対策面積 [m ²]		
(エ) 保水性被覆材による対策面積 [m ²]		2
(オ) 高反射被覆材による対策面積 [m ²]		
(カ) 再帰性建材による対策面積 [m ²]		
(キ) 各対策評価面積の合計 [m ²]		
(ク) 敷地面積 [m ²]	1	
(ケ) 各対策評価面積の合計の敷地面積に対する割合 [%]		

細区分	イ 風環境への配慮
-----	-----------

取組状況	取組状況の評価	
	適合状況	段階
(ア) 夏の卓越風向 []		3
(イ) 夏の卓越風向に直交する見付面積 [m ²]		
(ウ) 夏の卓越風向に直交する最大敷地幅 [m]		
(エ) 容積率の限度の値 [%]		2
(オ) 建蔽率の限度の値 [%]		
(カ) 地上部分の平均階高 [m]		
(キ) 基準高さ [m]		
(ク) 見付面積比 [%]	1	

細区分	ウ EV及びPHV用充電設備の設置
-----	-------------------

取組状況	取組状況の評価		
	適合状況	段階	
(ア) 駐車台数 [台]		3	
(イ) 急速充電設備の台数			パブリック用充電設備 [台]
		パブリック用充電設備 [台]	2
(ウ) 普通充電設備の台数			
			プライベート用充電設備 [台]

- 備考 1 取組状況の欄中「[]」には該当する事項に○印又は必要事項を記載すること。
2 取組状況の評価に応じて該当する段階に○印を記載すること。
3 当該評価基準の適用がない場合は適合状況の欄に「適用しない」と記載し、別表第2に掲げる細区分に該当する措置について記載を省略する場合は「記載を省略する」と記載すること。
4 ※省エネルギー性能目標値は、条例第17条の4の規定によるエネルギーの使用の合理化に関する性能の目標値を設定すべき場合に限り、記載すること。

第2 環境への配慮のための措置の概要

備考 設計上の基本方針、維持管理計画、設計及び維持管理計画上の制約等、特に配慮した事項を記載すること。